

赤韋威鎧 兜、大袖付



指定区分	国指定重要文化財(工芸品) 国宝
読みかた	あかかわおどしよろい かぶと おおそで つき
所在地	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
指定年月日	平成11年6月7日
解説	胴高約40cm(前)、約44cm(後)、草摺高約27.0cm、兜鉢高約13.3cm。平安時代後期の特色が強く、豪壮な趣を有する極めて貴重な甲冑。なお、兜は鎌倉時代の様式。鎧が伝わった赤木家はもと信濃国の豪族で、承久の乱(1221年)の功によって新補地頭として備中国に移った。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。 
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(工芸品) 国宝
ぶんかざいめい (文化財名)	赤韋威鎧 兜、大袖付
よみかた	あかかわおどしよろい かぶと おおそで つき
しょざいち (所在地)	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
していつひ (指定した日)	平成11年6月7日
せつめい	このよろいは、平安時代(へいあんじだい) のおわりごろに武士(ぶし)が戦(いくさ)で 着用(ちやくよう)したよろいです。すばらし い技術(ぎじゆつ)が集(あつ)まってつくら れたこのよろいは、保存状態(ほぞんじょう たい)もよく、日本の中でもとても貴重(き ちょう)なものです。